



J-PARC MLF利用者懇談会

第21回(令和3年度第1回)総会

日時： 2022年3月7日(月)
13:30～14:30
オンライン

次 第

1. 会長挨拶
2. 第7期幹事会構成
3. 令和3年度活動報告
4. 令和3年度決算報告見込み
5. 幹事選挙結果報告
6. 審議事項：会則(選挙細則)の改訂
7. その他

1. 会長挨拶

日野 正裕

京都大学複合原子力科学研究所 准教授

2. 第7期幹事会構成

第7期の幹事会の体制は以下のとおり

会 長：	日野 正裕 氏
副会長：	足立 匡 氏
会計担当：	峯村 哲郎 氏
行事担当：	中野 岳仁 氏、増井 友美 氏、 松浦 直人 氏
広報担当：	今井 英人 氏、益田 隆嗣 氏
庶務担当：	梅垣 いづみ氏、河村 聖子 氏

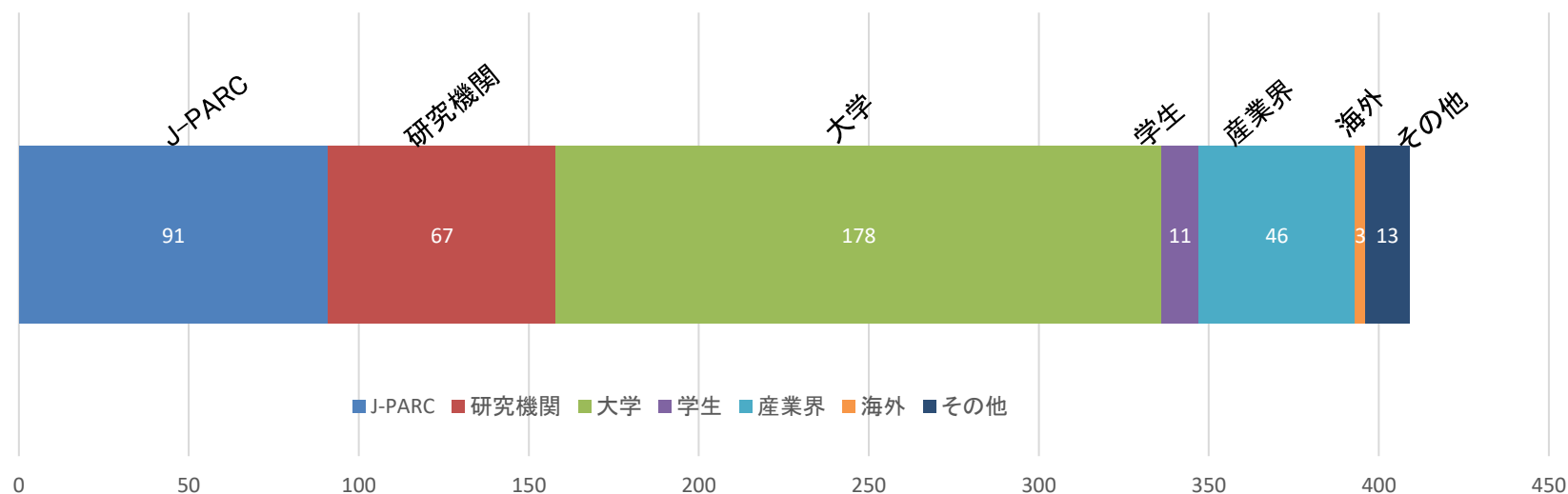
3. 令和3年度活動報告

会員の入退会状況について

2022年3月

区分	2018年度 総会時	2019年度 総会時	2020年度 総会時	現在
会員	450名	423名	408名	409名
協賛会員	17社	19社	20社	20社

所属別構成員数



① 総括

- 幹事会、ならびに10分科会を組織し、J-PARC MLFの中性子とミュオンを利用しているユーザーの研究を促進する ための活動を行っている。
- **分科会活動**：中性子産業利用推進協議会、茨城県中性子利用研究会、CROSS等と連携して研究会を開催
- **共催事業**：サイエンスフェスタやMLF産業利用成果報告会、中性子ミュオンスクール等の活動を共催
- **会員への情報提供サービス**：J-PARC MLFの運転状況に関する各種情報、課題募集、中性子ならびにミュオンによる研究成果、各種会合・行事等の情報提供
- 一般会員・協賛会員の勧誘活動
- 自動入会システムの導入検討

② MLF利用者懇談会幹事会の開催

令和 3年 5月18日(臨時)

分科会活動の支援について

令和 3年 5月28日

第8期幹事選挙システム導入計画について

分科会活動の支援について

令和 3年11月19日(臨時)

MLF執行部との意見交換

令和 3年12月 6日

第8期幹事選挙について

2021年度量子ビームサイエンスフェスタについて

令和 4年 2月28日

J-PARCワークショップへの推薦について

総会準備、MLF要望セッションについて

令和 4年 3月 1日(臨時)

MLF執行部との意見交換

③ 分科会活動

令和3年度は下記の分科会活動を実施済・実施予定である。

■基礎物理・原子核分科会

令和3年12月16-17日

名古屋大学・オンライン

■液体・非晶質分科会

令和4年3月11日 オンライン

<https://j-neutron.com//infomation/20220311r.pdf>

■生命物質分科会(構造生物学会) オンライン

令和4年3月15日

<https://j-neutron.com//infomation/20220315.pdf>

④ 分科会の活性化・勧誘活動

- 分科会活動の見直し
- 研究会開催時の助成金支給、広報
- J-PARCワークショップへの推薦
- 若手研究者の支援

⑤ MLFとの共同活動

- ユーザーアンケートの実施（1/4～1/29）

解析・pdf 解析分科会 **※R4年度から活動休止**

研究分野: 構造解析、構造物性、セラミックス、格子欠陥、残留応力、集合組織、ナノ結晶、結晶子、フォノン、量子拡散

代表者: 井手本康(東京理科大学)

副代表者: 神山崇(KEK)、大山研司(茨城大学)

液体・非晶質分科会

研究分野: 構造、ダイナミクス

代表者: 吉田亨次(福岡大学)

副代表者: 久保謙哉(国際基督教大学)、鈴木賢太郎(JAEA)

ソフトマター・反応分科会

研究分野: 高分子、有機物、界面、反応、気体

代表者: 松葉豪(山形大学)

副代表者: 高野敦志(名古屋大学)

生命物質分科会 (構造生物学研究会)

研究分野: タンパク質、DNA、薬品、ダイナミクス

代表者: 佐藤衛(横浜市立大学)

副代表者: 杉山正明(京都大学複合原子力科学研)

磁性・強相関分科会

研究分野: 高温超電導、磁性材料、磁性基礎一般

※活動休止中

半導体分科会 **※名称変更を検討中**

研究分野: 水素、ひずみ、電子密度

代表者: 竹下聡史(KEK)

副代表者: 伊藤孝(JAEA)

電池材料分科会

研究分野: 電池開発、電池材料研究とその利用に関して

※活動休止中

基礎物理・原子核分科会

研究分野: 素粒子、原子核、光学、原子分子、 μ CF

代表者: 清水裕彦(名古屋大学)

副代表者: 下村浩一郎(KEK) **※代表・副代表交代を検討中**

微量分析・非破壊検査分科会

研究分野: ラジオグラフィ、PGA

代表者: 鬼柳善明(名古屋大学)

副代表者: 斎藤泰司(京都大学複合原子力科学研究所)

重水素材料研究分科会

研究分野: 重水素化合物の生成とその利用に関して

代表者: 佐治木弘尚(岐阜薬科大学)

副代表者: 安達基泰(QST)

幹事: 阿久津和宏(CROSS)

「J-PARCワークショップ」への推薦

「J-PARCワークショップ」は、J-PARCとして重要と考える研究会やセミナー等について、旅費等の会議開催費用を最大50万円まで、施設の経費でサポートする仕組み

- 旅費、会議開催経費の支援
- 参加登録、研究会、ホームページ掲載のためのサーバーのサポート等

⑥ 行事の主催、共催、協賛

【主催】

- ・第5回中性子・ミュオンスクール 令和3年12月6～9日 オンライン
- ・2021年度量子ビームサイエンスフェスタ(第13回MLFシンポジウム)
令和4年3月7日 オンライン

【共催】

- ・J-PARC MLF産業利用報告会 令和3年7月15日 オンライン
- ・iBIXタンパク質構造研究会 令和3年8月20日 オンライン
- ・2021年度 iBIX-JAXA-KEK物構研-QST
合同タンパク質研究会 令和4年2月16日 オンライン

【協賛】

- ・電池材料研究会 令和3年6月10日 オンライン
- ・金属材料研究会 令和3年7月27日 オンライン
- ・有機・高分子材料研究会 令和3年8月3日 オンライン

【協賛】

- ・第7回 大型実験施設とスーパーコンピュータとの
連携利用シンポジウム 令和3年9月14日 オンライン
- ・令和3年度 第3回iMATERIA研究会 令和3年10月1日 オンライン
- ・CBI研究機構 量子構造生命科学研究所／
IUSNA生物・生体材料研究会合同シンポジウム 令和3年10月29日 オンライン
- ・第25回 CROSSroads Workshop 令和3年11月15日 オンライン
- ・IUSNA 金属材料研究会 令和4年1月18日 オンライン
- ・有機・高分子材料研究会 令和4年1月25日 オンライン
- ・2021年度 磁性材料研究会 令和4年2月16日 オンライン
- ・CBI研究機構 量子構造生命科学研究所／
IUSNA生物・生体材料研究会 合同シンポジウム 令和4年3月4日
オンライン
- ・ものづくり基盤研究会 令和4年3月10日 オンライン

4. 令和3年度決算見込み

科目	収入額	支出額	備考
収入			
前年度からの繰越	1,027,775		
協賛会費	200,000		20社×10,000円
企業展示等	40,000		バナー広告3社 協賛会員2社×10,000円 非協賛会員1社×20,000円
雑収入	10		利息
収入合計	1,267,785		
支出			
1. 事業費			
(1)総会 幹事会		126,164	インターネット選挙システム料金、振込手数料
(2)分科会		15,000	共催1件 ￥15,000×1
(3)サイエンスフェスタ		45,000	トロフィー、賞状、円筒 35,970円、送料、振込手数料 特設ホームページ開設費用 1,901円
(4)MLF産業利用成果報告会		0	オンライン開催のため
(5)中性子ミュオンスクール		0	オンライン開催のため
(6)その他		0	
2. 管理費		25,872	クラウドサービス料金 (1,826円/月 12か月分) 専用サーバーサービス・ホスティング料 (3,960円/年)
3. 予備費		0	
支出合計		212,036	
次年度への繰越		1,055,749	

5. 第8期幹事選挙結果報告

第8期J-PARC MLF利用者懇談会幹事選挙の結果を報告する。

1月20日に開票し、第8期の幹事の当選者は下記の方々となった。
投票者数は103名、有効投票率は25.2%

- ・ 足立 匡 氏
- ・ 梅垣 いづみ 氏
- ・ 大石 一城 氏
- ・ 大山 研司 氏
- ・ 二宮 和彦 氏
- ・ 原田 雅史 氏
- ・ 山田 悟史 氏

(五十音順)

Web選挙システム導入した結果、幹事候補者推薦選挙の投票率が飛躍的に向上し
3票以上の票獲得者数が大幅に増加した(投票の秘匿性や開票作業の負担軽減にもつながった)

	候補者推薦選挙投票率	候補者数(3票以上)	幹事選挙投票率
前回(第7期選挙)	10.4 % (44/421人)	23名	17.8%(75/421人)
今回(第8期選挙)	26.7 % (109/408人)	61名	25.2%(103/408人)

2.6 倍

2.6 倍

1.4 倍

6. 審議事項 会則（選挙細則）の改訂

選挙細則改訂の主旨：

Web選挙システム導入における

①投票の秘匿性及び回収率の向上

②幹事および事務局の負担軽減

第一号議案 選挙細則 第4条

第二号議案 選挙細則 第5条

第三号議案 選挙細則 第6条

J-PARC MLF 利用者懇談会会則 新旧対照表 (案)

※該当部分のみ抜粋
変更箇所を_____にて示す

(旧)	(新)	
2008年3月6日 (改正) 2014年7月15日 (改正) 2016年3月16日 (改正) 2019年3月13日 J-PARC MLF 利用者懇談会 選挙細則(案) 第4条 (推薦) 幹事候補者は、3名以上の正会員から推薦された者と、幹事会が推薦する者とする。選挙管理委員会は、メールにより正会員に期日を設けて幹事候補者の推薦を依頼し、3名以上の正会員から推薦があった者を会員推薦幹事候補者とする。 第5条 (投票) 投票に際しては、選挙管理委員会からのメールにより添付された投票様式を用いることとし、投票様式に記載された候補者リストの中から選挙管理委員会が指定する改選数(7名)までを選択して投票するものとする。 第6条 (投票様式の送付方法) 正会員は、候補者の氏名を選択した投票様式を添付の上、投票者の所属・氏名を添記したメールにより、選挙管理委員会宛送付する。 付則 1. この選挙細則は2008年4月1日より施行する。 2. 懇談会設立当初の暫定措置として、第1期の幹事のうち、2名の任期の終了を2010年3月31日とし、2009年度に第1回目の定期選挙を実施する。 3. この選挙細則は2014年7月15日より施行する。 4. この選挙細則は2016年3月16日より施行する。 5. この選挙細則は2019年3月13日より施行する。	2008年3月6日 (改正) 2014年7月15日 (改正) 2016年3月16日 (改正) 2019年3月13日 (改正) 2022年3月 日 J-PARC MLF 利用者懇談会 選挙細則(案) 第4条 (推薦) 幹事候補者は、3名以上の正会員から推薦された者と、幹事会が推薦する者とする。選挙管理委員会は、メール等により正会員に期日を設けて幹事候補者の推薦を依頼し、3名以上の正会員から推薦があった者を会員推薦幹事候補者とする。 第5条 (投票) 投票に際しては、選挙管理委員会からのメール等により添付された投票様式を用いることとし、投票様式に記載された候補者リストの中から選挙管理委員会が指定する改選数(7名)までを選択して投票するものとする。 第6条 (投票様式の送付方法) 正会員は、候補者の氏名を選択した投票様式を添付の上、投票者の所属・氏名を添記したメール等により、選挙管理委員会宛送付する。 付則 1. この選挙細則は2008年4月1日より施行する。 2. 懇談会設立当初の暫定措置として、第1期の幹事のうち、2名の任期の終了を2010年3月31日とし、2009年度に第1回目の定期選挙を実施する。 3. この選挙細則は2014年7月15日より施行する。 4. この選挙細則は2016年3月16日より施行する。 5. この選挙細則は2019年3月13日より施行する。 6. この選挙細則は2022年〇月 〇日より施行する。	追記 一部追記 一部追記 一部追記 追記

7. その他